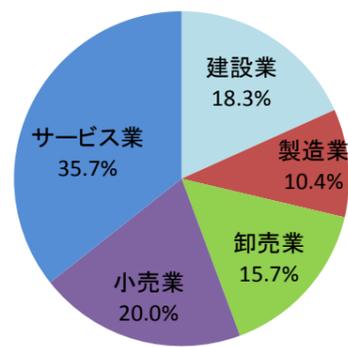


弘前地域企業短期景況観測調査（1月～3月期分）結果報告

1. 調査概要

- 1) 調査対象企業：弘前商工会議所議員、部会役員、小規模企業振興委員 旅館・ホテル組合役員、石油卸売業の各企業
- 2) 調査対象期間：平成24年1月～3月期
- 3) 調査時期、方法：平成24年4月2日 調査票発送(FAX)：平成24年4月16日 調査票回収締め切り (FAX)
- 4) 回答率：53.3% (回答企業数115企業/調査企業数216企業)
- 5) 回答企業の業種割合：(右の円グラフをご参照ください。)



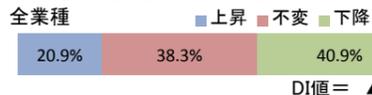
注)5)「在庫」については、本来であれば「不足」との回答は良好な傾向を示しますが、東日本大震災発生以降の一定期間の「在庫不足」の要因は、物流の停滞に起因するものであるため、点線で示した方をご参照ください。

2. 景況動向について

※表中DI (Diffusion Index)値とは、(増加・好転など「良い」の回答割合) - (減少・悪化など「悪い」の回答割合) で計算される景況判断指数です。

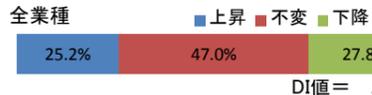
1)「売上」について

・1月～3月の「売上」は、昨年同期と比較して

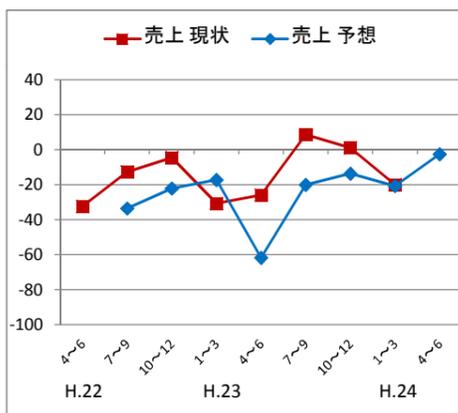


(業種別)	上昇	不変	下降	DI値
建設業	0.0%	52.4%	47.6%	▲ 47.6
製造業	25.0%	41.7%	33.3%	▲ 8.3
卸売業	44.4%	11.1%	44.4%	0.0
小売業	30.4%	30.4%	39.1%	▲ 8.7
サービス業	14.6%	46.3%	39.0%	▲ 24.4

・4月～6月の「売上予想」は、昨年同期と比較して



(業種別)	上昇	不変	下降	DI値
建設業	19.0%	47.6%	33.3%	▲ 14.3
製造業	8.3%	41.7%	50.0%	▲ 41.7
卸売業	27.8%	50.0%	22.2%	5.6
小売業	21.7%	52.2%	26.1%	▲ 4.3
サービス業	34.1%	43.9%	22.0%	12.2



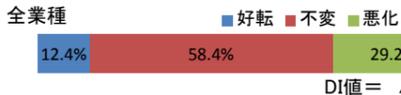
2)「採算」について

・1月～3月の「採算」は、昨年同期と比較して

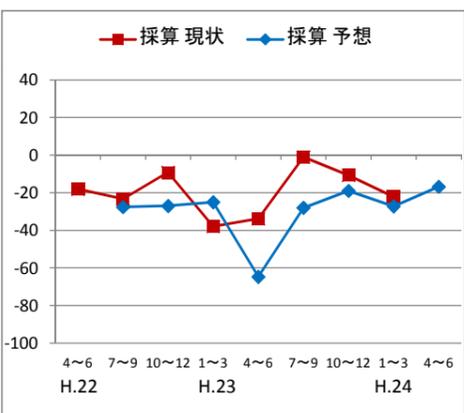


(業種別)	好転	不変	悪化	DI値
建設業	0.0%	66.7%	33.3%	▲ 33.3
製造業	16.7%	41.7%	41.7%	▲ 25.0
卸売業	27.8%	50.0%	22.2%	5.6
小売業	13.0%	52.2%	34.8%	▲ 21.7
サービス業	12.8%	46.2%	41.0%	▲ 28.2

・4月～6月の「採算予想」は、昨年同期と比較して



(業種別)	好転	不変	悪化	DI値
建設業	4.8%	66.7%	28.6%	▲ 23.8
製造業	0.0%	50.0%	50.0%	▲ 50.0
卸売業	11.1%	72.2%	16.7%	▲ 5.6
小売業	17.4%	47.8%	34.8%	▲ 17.4
サービス業	17.9%	56.4%	25.6%	▲ 7.7



3)「資金繰り」について

・1月～3月の「資金繰り」は、昨年同期と比較して

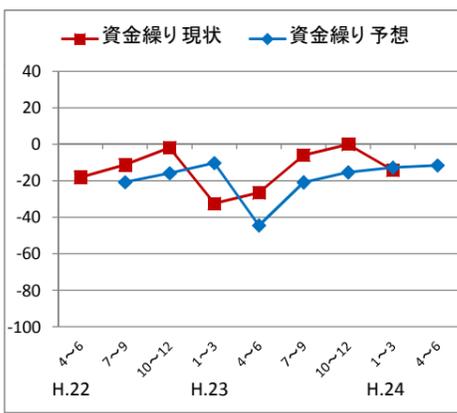


(業種別)	好転	不変	悪化	DI値
建設業	0.0%	81.0%	19.0%	▲ 19.0
製造業	8.3%	66.7%	25.0%	▲ 16.7
卸売業	22.2%	72.2%	5.6%	16.7
小売業	0.0%	69.6%	30.4%	▲ 30.4
サービス業	5.1%	74.4%	20.5%	▲ 15.4

・4月～6月の「資金繰り予想」は、昨年同期と比較して



(業種別)	好転	不変	悪化	DI値
建設業	0.0%	85.7%	14.3%	▲ 14.3
製造業	0.0%	75.0%	25.0%	▲ 25.0
卸売業	11.1%	88.9%	0.0%	11.1
小売業	0.0%	73.9%	26.1%	▲ 26.1
サービス業	7.7%	76.9%	15.4%	▲ 7.7



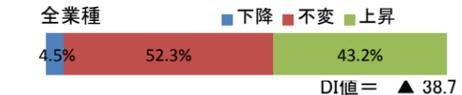
4)「仕入単価」について

・1月～3月の「仕入単価」は、昨年同期と比較して

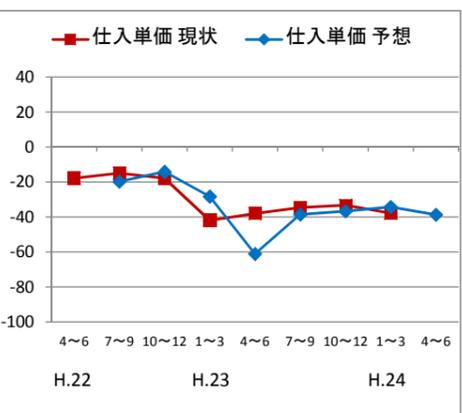


(業種別)	下降	不変	上昇	DI値
建設業	4.8%	42.9%	52.4%	▲ 47.6
製造業	0.0%	41.7%	58.3%	▲ 58.3
卸売業	11.1%	38.9%	50.0%	▲ 38.9
小売業	4.3%	69.6%	26.1%	▲ 21.7
サービス業	5.4%	54.1%	40.5%	▲ 35.1

・4月～6月の「仕入単価予想」は、昨年同期と比較して

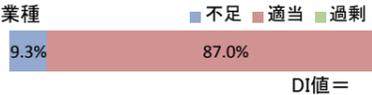


(業種別)	下降	不変	上昇	DI値
建設業	4.8%	38.1%	57.1%	▲ 52.4
製造業	0.0%	50.0%	50.0%	▲ 50.0
卸売業	5.6%	44.4%	50.0%	▲ 44.4
小売業	4.3%	78.3%	17.4%	▲ 13.0
サービス業	5.4%	48.6%	45.9%	▲ 40.5



5)「在庫」について

・1月～3月の「在庫」は、昨年同期と比較して

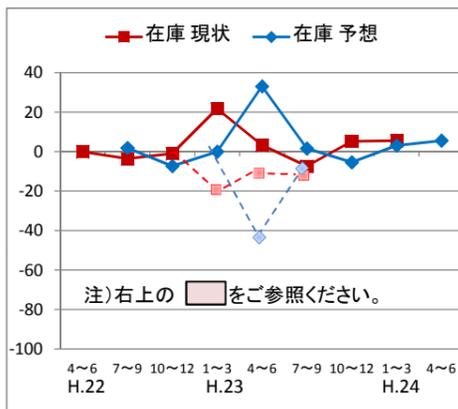


(業種別)	不足	適当	過剰	DI値
建設業	5.0%	95.0%	0.0%	5.0
製造業	0.0%	100.0%	0.0%	0.0
卸売業	16.7%	72.2%	11.1%	5.6
小売業	8.7%	82.6%	8.7%	0.0
サービス業	11.4%	88.6%	0.0%	11.4

・4月～6月の「在庫予想」は、昨年同期と比較して

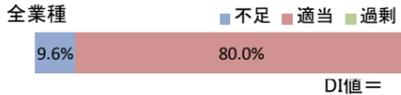


(業種別)	不足	適当	過剰	DI値
建設業	5.0%	90.0%	5.0%	0.0
製造業	8.3%	91.7%	0.0%	8.3
卸売業	22.2%	72.2%	5.6%	16.7
小売業	8.7%	78.3%	13.0%	▲ 4.3
サービス業	11.4%	85.7%	2.9%	8.6



6)「従業員」について

・1月～3月の「従業員」は、昨年同期と比較して

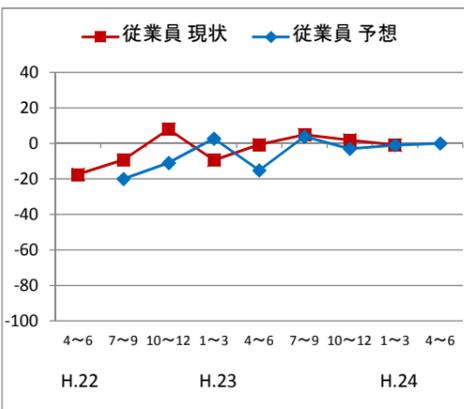


(業種別)	不足	適当	過剰	DI値
建設業	4.8%	95.2%	0.0%	4.8
製造業	0.0%	83.3%	16.7%	▲ 16.7
卸売業	5.6%	72.2%	22.2%	▲ 16.7
小売業	4.3%	82.6%	13.0%	▲ 8.7
サービス業	19.5%	73.2%	7.3%	12.2

・4月～6月の「従業員予想」は、昨年同期と比較して

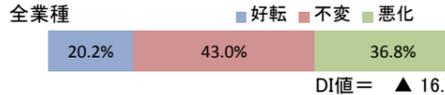


(業種別)	不足	適当	過剰	DI値
建設業	14.3%	76.2%	9.5%	4.8
製造業	0.0%	83.3%	16.7%	▲ 16.7
卸売業	5.6%	77.8%	16.7%	▲ 11.1
小売業	4.3%	82.6%	13.0%	▲ 8.7
サービス業	14.6%	82.9%	2.4%	12.2



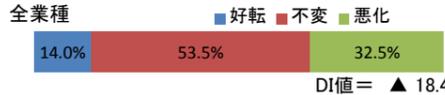
7)「自社景況」について

・1月～3月の「自社景況」は、昨年同期と比較して

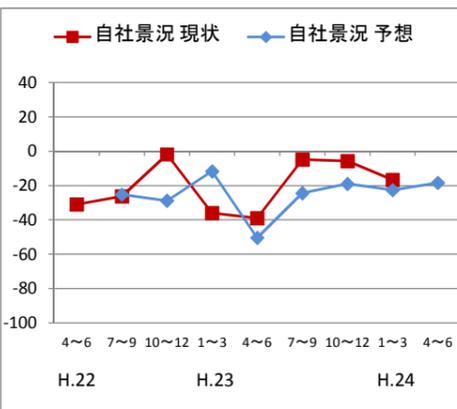


(業種別)	好転	不変	悪化	DI値
建設業	4.8%	57.1%	38.1%	▲ 33.3
製造業	25.0%	33.3%	41.7%	▲ 16.7
卸売業	38.9%	27.8%	33.3%	5.6
小売業	26.1%	47.8%	26.1%	0.0
サービス業	15.0%	42.5%	42.5%	▲ 27.5

・4月～6月の「自社景況予想」は、昨年同期と比較して

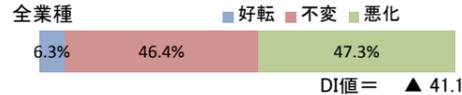


(業種別)	好転	不変	悪化	DI値
建設業	9.5%	52.4%	38.1%	▲ 28.6
製造業	0.0%	50.0%	50.0%	▲ 50.0
卸売業	22.2%	55.6%	22.2%	0.0
小売業	17.4%	60.9%	21.7%	▲ 4.3
サービス業	15.0%	50.0%	35.0%	▲ 20.0



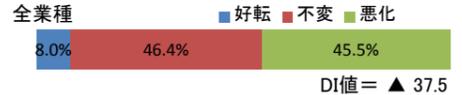
8)「業界景況」について

・1月～3月の「業界景況」は、昨年同期と比較して

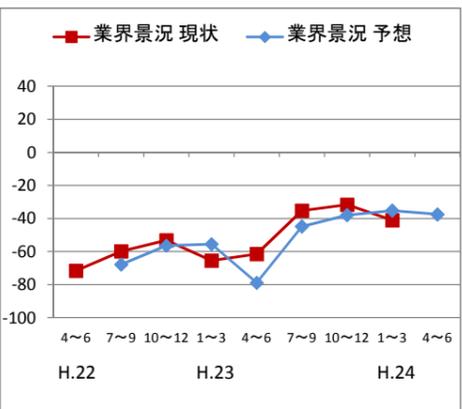


(業種別)	好転	不変	悪化	DI値
建設業	0.0%	47.6%	52.4%	▲ 52.4
製造業	0.0%	54.5%	45.5%	▲ 45.5
卸売業	11.8%	47.1%	41.2%	▲ 29.4
小売業	18.2%	40.9%	40.9%	▲ 22.7
サービス業	2.4%	46.3%	51.2%	▲ 48.8

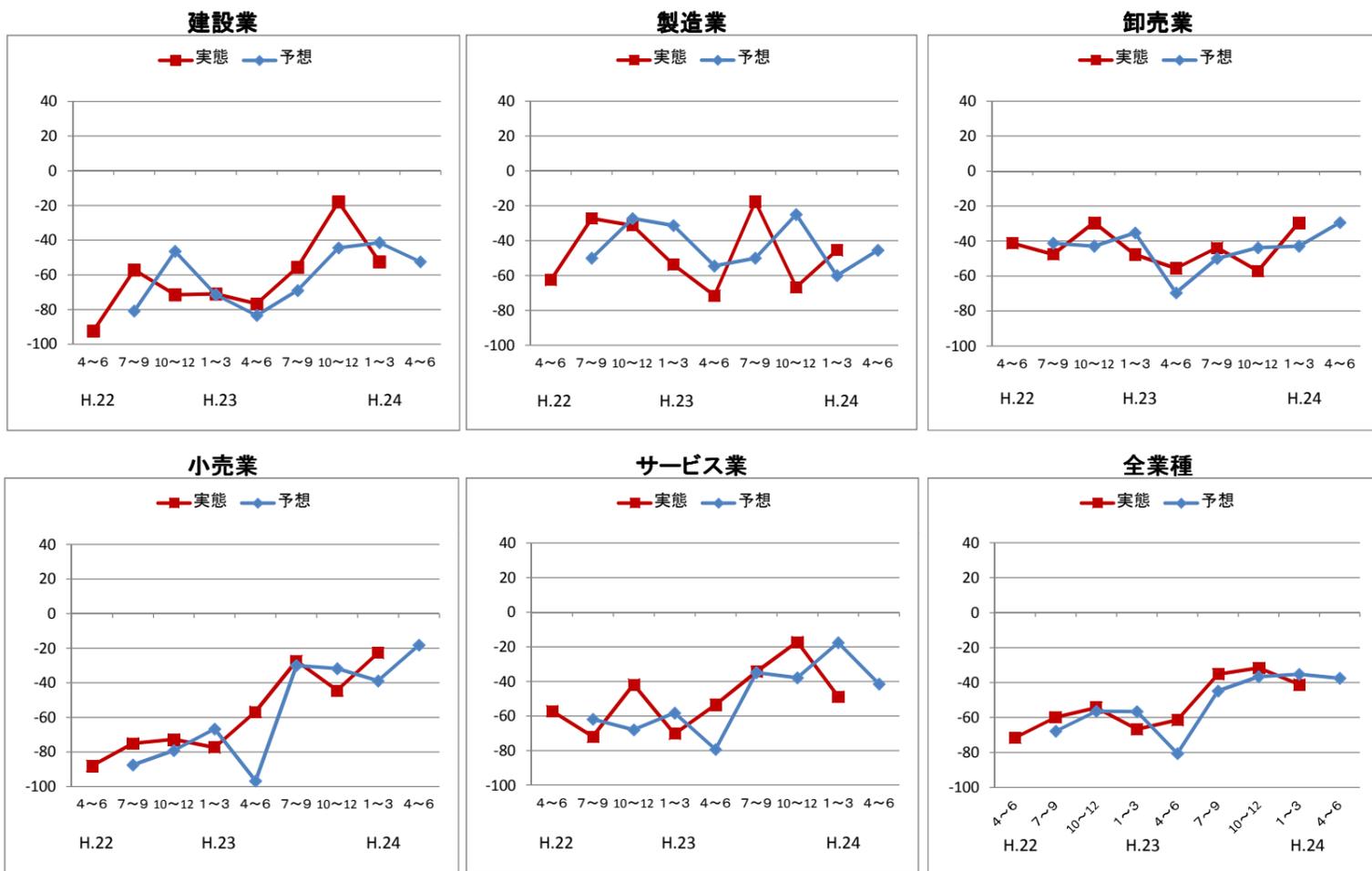
・4月～6月の「業界景況予想」は、昨年同期と比較して



(業種別)	好転	不変	悪化	DI値
建設業	0.0%	47.6%	52.4%	▲ 52.4
製造業	0.0%	54.5%	45.5%	▲ 45.5
卸売業	11.8%	47.1%	41.2%	▲ 29.4
小売業	18.2%	45.5%	36.4%	▲ 18.2
サービス業	7.3%	43.9%	48.8%	▲ 41.5

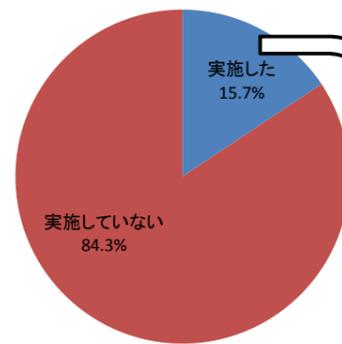


◆業種別の業況推移

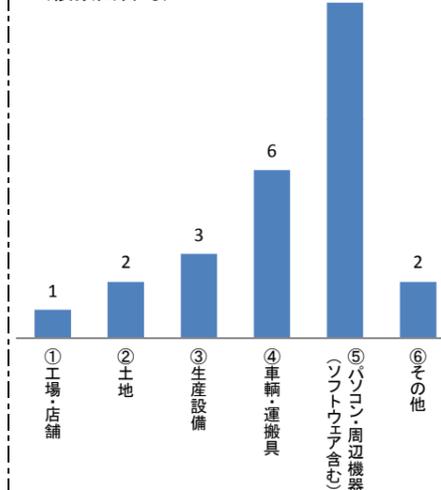


3. 設備投資動向について

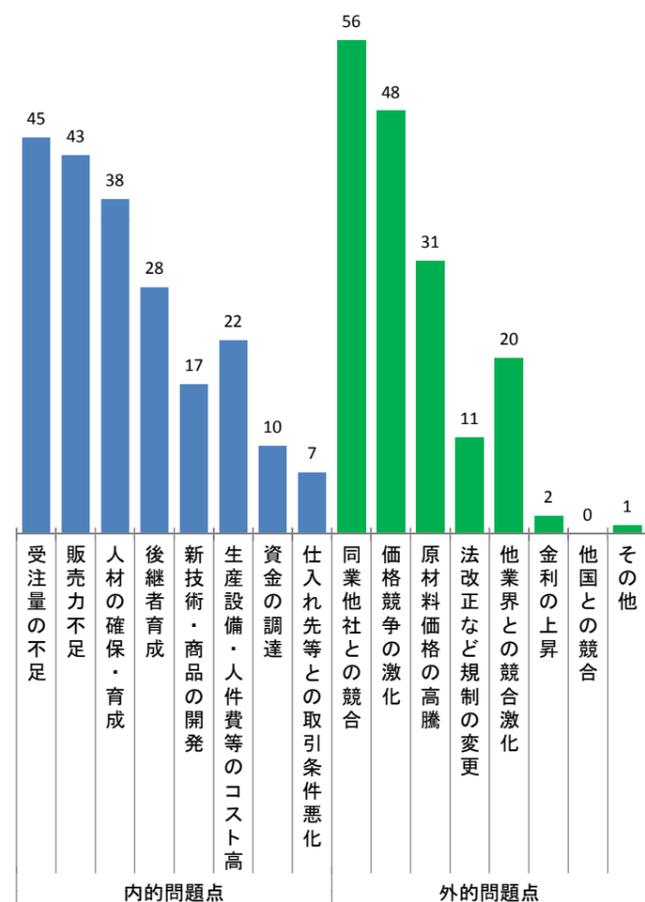
1)1月～3月の間に設備投資を
(実施した/実施していない)



2)設備投資の内容について
(複数回答可)

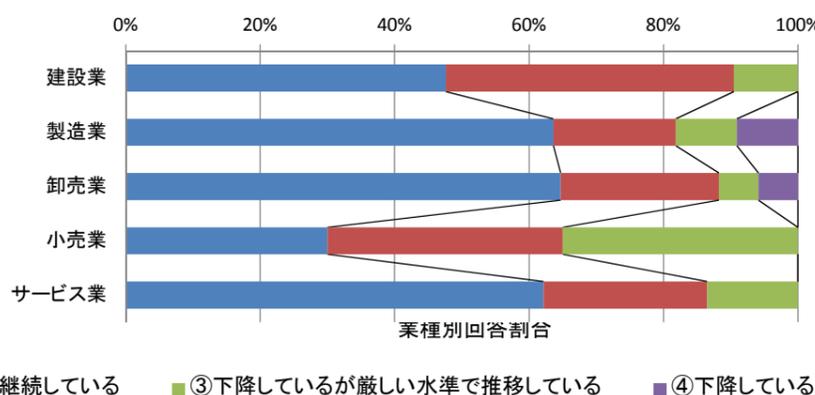
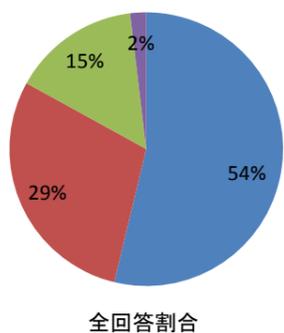


4. 経営上の問題点について(複数回答可)

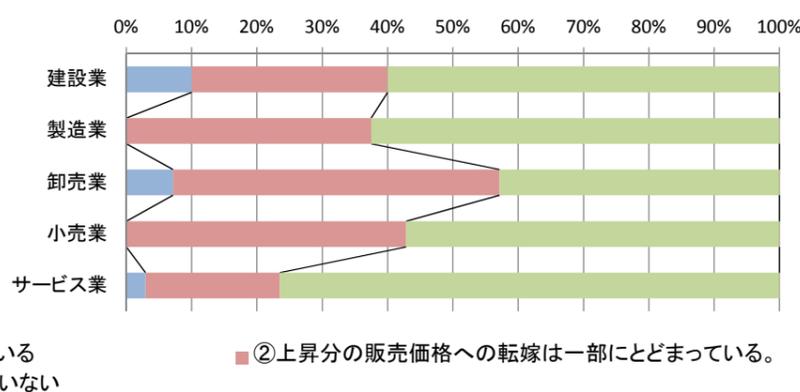
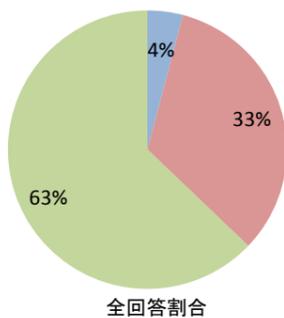


5. 原材料、素材、商品等の仕入れ価格について

1)原材料・商品等の仕入れ価格について



2)仕入れ価格上昇分の販売価格への転嫁について



6. キーワード、トピックス、関心事項

- ・ 今後の電力の需要と供給のバランス、料金値上げ等の問題
- ・ 国内政治の不安定感
- ・ 震災復興需要や公共発注の動向
- ・ 海外経済不安定による世界経済への影響
- ・ 原油、原材料等の価格の動向
- ・ 人材の確保、育成(建設業)

【調査結果のポイント】

弘前地域の景況は東日本大震災後、緩やかな回復基調を継続していましたが、今回の調査結果では業種によりばらつきがあるものの全体では悪化に転じました。先行きについては小幅ながら低調に推移すると判断しています。これを受けて、設備投資動向は前回調査と同様に低調に推移しました。

◆業種別の景況感

- 【建設業】 資材価格や人件費の上昇傾向に加え受注量の不足により、緩やかな回復基調の継続から一転し業況は悪化しました。先行きについても低調に推移すると判断しています。
- 【製造業】 原材料価格の上昇等により、引き続き厳しい状況にあるものの業況は上向きを示しました。先行きについても緩やかな回復基調で推移すると判断しています。
- 【卸売業】 東日本大震災の影響から脱しつつある状況下、業況は上向きしました。先行きについても回復基調で推移すると判断しています。
- 【小売業】 買い控えの解消や季節需要の順調な推移から景況は上向きしました。先行きについても回復基調で推移すると判断しています。
- 【サービス業】 豪雪等の季節的要因により観光関連業を中心に低調に推移し業況は悪化しました。先行きについても低調に推移すると判断しています。